

【外国語学部】令和8年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1)テーマ：データに基づく現状分析を起点とした外国語学修の再構築

(2)目 的：学生の履修状況・成績・GPAなどの客観的データをもとに、現在の外国語学修の実態を詳細に把握し、その分析結果を踏まえて、今後入学してくる学生の特性に適した新しい外国語学修の在り方を再設計すること。

(3)期待する効果：履修状況・成績・GPAなどのデータを分析することで、これまで感覚的に語られてきた課題を可視化し、議論の土台が明確になる。そこで共有した知見に基づきより効果的な外国語学修の実現につながる。

2. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1)公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

本ワークショップでは、ここ数年の履修状況、成績分布、GPA 推移などの学習データを精査し、学生の学習成果および学習行動の現状を客観的に把握する。これらのデータ分析を通じて、現状に潜む問題点を洗い出し、どの部分に改善の余地があるのかを明確にしていく。

参加教員は、データから読み取れる到達度の傾向や学習行動の特徴を共有し、授業設計、評価方法、学習支援の運用に内在する課題を総合的に検討する。学修成果に影響を与えている要因を多面的に捉えながら改善の方向性を議論し、今後求められる新たな手法や到達目標の設定について検討を進める。

(2)その他研修会等：

※(1)以外の学部 FD として実施する研修会が対象(人権研修会を除く)

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。